

'22春闘ニュース



発行元：神奈川県労働組合総連合 - 横浜市中区桜木町3-9横浜平和と労働会館 6F TEL045-212-5855 / FAX045-212-5745

神奈川県労連 22春闘サイト開設しました！

最新の春闘情報を順次掲載いたします。



↓こちらをクリック！

2022
春闘

誰もが
人間らしく暮らせる
新しい社会へ

大企業や
富裕層の
利益優先NO

国民春闘共闘委員会 単産・地方代表者会議 開催

1月12日に、国民春闘共闘委員会は単産・地方代表者会議を開催し、2022国民春闘方針を確認しました。

ながった」と述べました。「企業を育てるのは、労働者」と強調し、「賃上げに反転する春闘を」と期待を表明しました。

なぜ賃金が上がらない？

会議に先立って労働政策研究・研修機構の呉学殊・統括研究員が、「なぜ日本の賃金は上がらないのか」をテーマに講演。自らの“賃金が高い”日本に来たにもかかわらず、今では出身国の韓国の研究者よりも賃金が低い状況なども紹介しつつ、1990年ごろには韓国の賃金は概ね日本の3分の1の水準だったが、現在は自動車や鉄鋼、電機などの大企業では、日本より韓国の企業の平均賃金が高いと指摘。

要因として、日本ではストライキが激減し労使の「静的安定」があるとし、一方の韓国ではストライキも含め活発な労働運動により、労使の緊張感が生まれ「賃上げに伴い、経営者もより付加価値の高い製品を生み出す努力をし、シェアを広げることにつ

組合員・職場の思いを変える

代表者会議における春闘方針の提案で黒澤事務局長は、労働者が賃上げを要求する重要性を強調し、あわせて未組織労働者に労働組合を知らせながら春闘をとりくむ行動を提起しました。

討論では「『そうは言っても、うちの職場では』という組合員・職場の思いを、どう変えるかが重要」、「ケア労働者の大幅賃上げにむけ、地域からの要請行動を計画」、「春闘で、ジェンダー平等と気候危機の課題を位置づける必要」などの発言がされ、方針が深められました。

春闘闘争宣言行動

国民春闘共闘委員会主催で、1月13日に春闘闘争宣言行動として、厚生労働省前行動、丸の内デモ、経団連包囲がとりくまれました。

厚労省前ではユーコープ労組の安部さんが、地域バラバラの最賃格差によって、同じ仕事をしているパートの時給が県によって違うことを告発し、均等待遇と全国一律最賃の実現をめざす決意を述べました。

コロナ禍のため、丸の内デモは伝言車からだけのコールでしたが、昼休みの労働者らが、参加者が掲げる横断幕やプラカードを注目していました。

日本経団連前では、賃金を引き上げるために役割を果たすことを求め、民間や公務の仲間が次々と訴えました。「春闘闘争宣言」が読み上げられ、最後に「内部留保を賃金に回せ」などシュプレヒコールを行い、行動を終了しました。

